



特集

～ながさきピース文化祭 2025～ 世界へ、未来へつなぐ 長崎・佐世保の文化の魅力

第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭が、ことしの秋に長崎県で初めて開催されます。2つの祭典を統一した「ながさきピース文化祭にせんにじゅうご2025」を愛称とする本祭典には、文化芸術を通じて、平和を長崎から国内外へ発信しようという思いが込められています。今回の特集では、ながさきピース文化祭2025の概要や、祭典に向けて取り組みを進めている人々を紹介します。

会期 令和7年9月14日(日)～11月30日(日)

会場 (開会式)アルカス SASEBO
(各種事業)県内各地で開催

佐世保市を代表する文化人からのメッセージ



映像作家・
映画監督
横尾 初喜 さん



おそらく一生に一度しか体験できない長崎で開催される国民文化祭「ながさきピース文化祭2025」に、佐世保出身の映画監督として参加できることを大変光栄に感じています。

文化、芸術に触れる体験を長崎の皆さんと共に、思う存分、表現していけたらと思います。



ドラマー・
パーカッショニスト
小川 慶太 さん



文化は人と人をつなぎ、新たな可能性を広げる力を持っています。ことしの国民文化祭が私の故郷・長崎で開催されることを大変喜ばしく思います。多様な文化が交わるこの地は、私にとって音楽の魅力を学んだ特別な場所です。この祭典を通じて、長崎の豊かな文化に触れ、新たな出会いや感動が生まれることを願っています。皆さんと共に、この素晴らしい文化の祭典を創り上げられることを楽しみにしています。

県内各地でさまざまな文化事業が行われます

78日間開催される「ながさきピース文化祭2025」では、県内各地でさまざまな文化に関する事業が実施されます。ここでは、佐世保市実行委員会と文化団体、その他団体などそれぞれが主催する事業を紹介します。

分野別交流事業

全国規模の文化団体などと共に、これまで継続的に実施されてきた分野について、広く出演者や作品を募集し、県内各地で発表や公演、交流を行う事業です。佐世保市では、次の5つの事業が開催されます。

オーケストラの祭典
9月20日(土)
アルカス SASEBO



岐阜県国民文化祭の様子

太鼓の祭典
10月5日(日)
アルカス SASEBO



石川県国民文化祭の様子

将棋の祭典
10月11日(土)、12日(日)
アルカス SASEBO



石川県国民文化祭の様子

俳句の祭典
10月26日(日)
アルカス SASEBO



石川県国民文化祭の様子

お香の祭典
10月25日(土)、26日(日)
アルカス SASEBO



岐阜県国民文化祭の様子

その他、県内各地で実施される分野別交流事業(一部)

- 大正琴の祭典(長崎市)
- 川柳の祭典(長崎市)
- きものの祭典(島原市)
- 詩の祭典(諫早市)
- 短歌の祭典(対馬市)
- 連句の祭典(五島市)
- 囲碁の祭典(雲仙市) など

地域文化発信事業

佐世保の多彩な文化資源や観光資源を活用し、地域独自の魅力を発信する文化・芸術事業を実施します。

実施予定事業(開催場所)

- 佐世保美術展ピース特別編(博物館島瀬美術センター)
- させぼピース展(博物館島瀬美術センター)
- みんなのさせぼフェス(市内各地)
- 長崎から世界へ響く平和のハーモニー～バッハ・コレギウム・ジャパン「メサイア」公演(アルカス SASEBO)
- SASEBO MUSIC SHOW(アルカス SASEBO ほか)
- ながさきピースミュージックラリー2025(市内各地)
- SASEBO STREET MIX(市内)
- させぼ映像祭(佐世保市民文化ホールほか)
- させぼ文化再発見(福井洞窟ミュージアムほか)
- させぼ障がいふれあいフェス(アルカス SASEBO ほか)

※事業名は仮称。

協賛事業

国民文化祭の趣旨に賛同し、その目的に沿った長崎県以外の自治体・文化団体・企業などが行う事業を文化庁が協賛事業として位置付けています。

応援事業

長崎県や県内市町、文化団体などが例年開催する事業など「ながさきピース文化祭2025」の趣旨に賛同する事業を県実行委員会が応援事業として位置付けています。

各種事業の詳細や観覧・参加・体験方法について、詳しくは市HPをご覧ください。



市HP
(ながさきピース文化祭)

ながさきピース文化祭 2025 に向けた取り組みを行う佐世保の人々

ながさきピース文化祭 2025 に向け、文化・芸術を愛する人々が、その魅力を世界に発信するため、また、地元佐世保の人々に文化の魅力を体感してもらうための取り組みを進めています。ここでは、佐世保の文化・芸術に携わり、本番に向けて取り組みを進める人たちにスポットを当てました。

佐世保に伝わる平戸藩松浦家の文化を広めたい



薬味-YAKUMI-
渋谷 香奈 さん

相浦から大野、柚木周辺の地区は、古くは「相神浦」と呼ばれていました。相神浦の地区を拠点に、地域活性化の取り組みを行っているのが、有志団体「薬味-YAKUMI-」です。薬味-YAKUMI-は、ながさきピース文化祭 2025 で平戸松浦藩が現代に継承してきた文化「平戸神楽」と「鎮信流の茶道」を皆さんに伝えようと、取り組みを進めています。

平戸松浦藩からの贈り物

日程 11月2日(日) 11時予定
場所 アルカス SASEBO

平戸藩松浦家が残した文化を継承するために

「現在の平戸市や佐世保市周辺を統治していた平戸藩松浦家は、さまざまな文化を現代に残しています。平戸藩松浦家が 400 年前に作り出した文化を皆さんに知ってもらい、継承していけたらという思いから、ながさきピース文化祭 2025 で『平戸神楽』と『鎮信流の茶道』を取り上げることにしました」と話すのは、有志団体「薬味-YAKUMI-」で地域活性化の活動を行う渋谷さんです。

国指定重要無形民俗文化財の平戸神楽は、元禄時代に平戸藩主が完成させたといわれ、神職だけが舞うことのできる神楽です。本番では、約 10 人の佐世保市の神主が、お面や真剣を使った舞と、笛や太鼓の演奏を披露されます。



「平戸神楽が神社のお祭りなどで行われる際、通常は一つの方向からしか見ることができません。今回は、アルカス SASEBO の大階段前広場で行うことから、三方向に加え、2 階、3 階の上からも見ることができます。いつもと違う角度から平戸神楽を見て、平戸神楽や神社に親しみを持ってもらいたいですね」と渋谷さんは話します。続けて、「神社はかつて地域コミュニティの要となる場所でした。神楽は神様に奉納するものですが、みんなで楽しむものでもあ

ります。地域の人との関わりは、日常生活だけでなく災害時にも重要になります。今回の事業を通じて、神社はそのような場所なんだと思っていただけたらうれしいです」と、事業に込められた思いを話していただきました。

茶道について何うと「鎮信流の茶道は、平戸藩松浦家に伝わる武家茶道の一派です。武家茶道として始まった鎮信流は、研ぎ澄まされたシンプルな作法が特徴です。「強く美しく生きる」心を培うためにたしなまれ、現代まで引き継がれています。当日は、お点前体験など、皆さんがお茶を楽しめる場所になればと考えています。大人から子どもまで、多くの人に来てほしいですね」と話していただきました。



体験して、誰かに伝えることも文化継承の一步

最後に、「平戸神楽も鎮信流の茶道も、知らない人が多いと思います。まずは 11 月 2 日(日)に知って、体験してもらって、その感想をぜひ誰かに伝えてほしいです。茶道を習う、神職になるとまではいかずとも、誰かに伝えることは文化を継承する一歩です。また、こんな文化が佐世保にあるんだと、誇りに思えるような事業にしたいと思っています」と意気込みを話していただきました。

(取材日 3月26日)



ジャズの音と、感謝の思いを届けるステージを目指して

生まれつき感音性難聴があり、幼少期に人工内耳の手術をした前田彩葉さん。小学 6 年生の時、ジャズピアニストのみおさんにピアノを習い始めました。ながさきピース文化祭 2025 では、ピアノ・ベース・ドラムで構成される「Mio Jazz Trio」が市内各地でジャズ演奏を披露。そのうちの 1 会場で、彩葉さんが出演します。

Mio Jazz Trio コンサート + 前田彩葉

日程 11月15日(土) 11時
場所 アルカス SASEBO

ピアノ・ベース・ドラムが奏でるジャズの音楽と チャレンジする姿を届けられる舞台へ

「Mio Jazz Trio は、ジャズを身近に感じてほしいという思いから、ながさきピース文化祭 2025 に参加することにしました。当日は約 45 分のステージで、Mio Jazz Trio がジャズの演奏を行います。彩葉さんは、当日、自身の思いを込めたオリジナル曲を披露します」と話すのは、ジャズピアニストで、彩葉さんのピアノの先生でもあるみおさんです。



彩葉さんは、人工内耳の手術成功後も、どれだけ音が聞こえるようになるかは分からないという状態だったようですが、時間をかけて聞く力と語彙力を身に付けていったそうです。小学 6 年生のころ、音程をつかみ、大好きな歌が歌えるようになればという思いから、ピアノを習い始めました。

「障がいのある人も、困難はあるかと思いますが、なんでもチャレンジしてほしいし、自分のことも知ってほしいと

いう思いから、今回、オリジナル曲のピアノの弾き語りと、ベース・ドラムと一緒に演奏することにチャレンジしています」と、彩葉さんは笑顔で話します。

経験と思いを曲にして、みんなに届けたい

「今、制作を進めているオリジナル曲の曲名は『My Story』です。自分の経験と、周りの人への感謝の気持ちを歌詞にしました」と、彩葉さんが作詞ノートを見せてくれ、みおさんは、「作曲は私が行っており、彩葉さんがイメージする、明るくて勇気が出るような曲を目指しています」と曲について教えてくれました。



最後に本番への意気込みを尋ねると、「自分のことを多くの人に知ってもらえるように、ピアノの音を響かせます。思いを頑張って伝えたいです」と彩葉さん、続いてみおさんは「彩葉さんのやりたいことができるだけかなうよう、サポートを頑張ります」と元気よく話してくれました。

(取材日 3月24日)

そのほかの出演者を動画でプラス！

地域文化発信事業「SASEBO STREET MIX」でスケートボードとダンスの事業を行う辻さん、田村さんと、「みんなのさせぽフェス」で日本舞踊を披露する藤間さんに伺った話を動画で紹介します。



YouTube
佐世保市
チャンネル

特集に関する問い合わせ 文化国際課 ☎ 24-1111